

輸出事業計画

※申請者名：株式会社柴沼醤油インターナショナル、品目：醤油

1. 輸出における現状と課題

- 醤油やたれ、ソース、ドレッシング等の調味料を62カ国へ輸出。国ごとの規制に合わせ、アルコールフリー・グルテンフリー・GMOフリー製品等も扱う。
- EU-HACCP、トルコにおけるGMO規制への対応に課題がある。
- 外食業への流通が輸出量の8割を占めていたが、コロナ禍を受け減少。小袋の醤油等により小売業への新規販路の開拓が求められている。
- 販路拡大に向け、各国マーケットの規制情報や消費者ニーズの把握が必要である。
- 海外輸出に対応する従業員の経験、知識・ノウハウが今後の輸出拡大に重要と認識している。

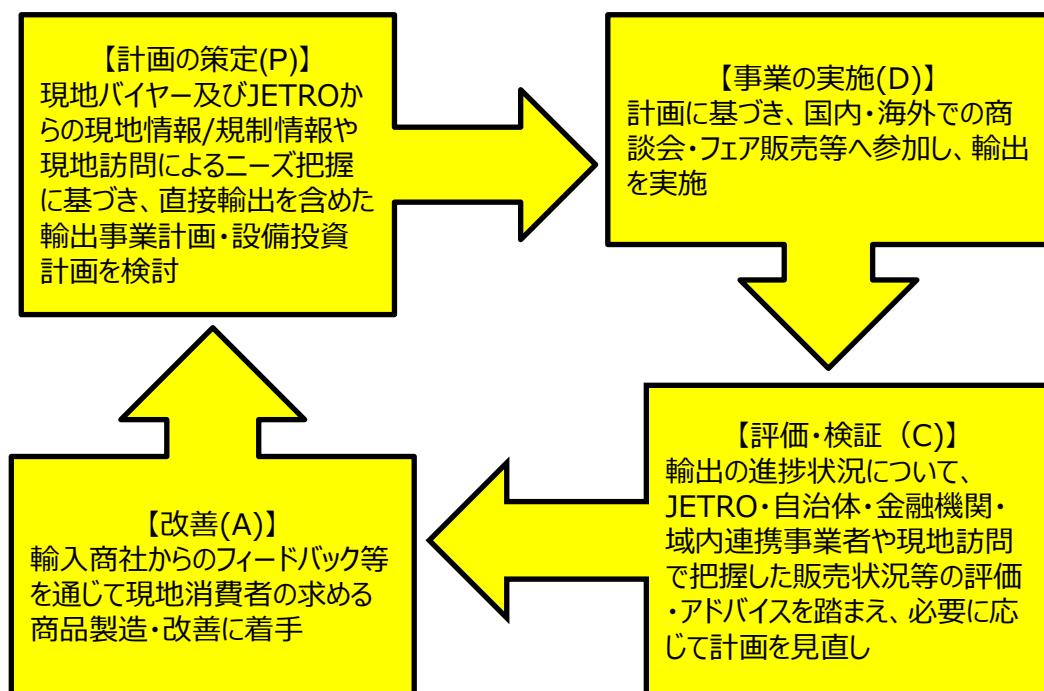
2. 輸出事業計画の取組内容

- カツオ原料を扱う認証取得工場の国内での発掘、韓国・ベトナム等において良質なカツオ原料を扱う企業の発掘を行う。
- JETROイスタンブール、JETRO茨城、Sushico社、石光商事との共同プロジェクトを通じて、トルコにおけるGMO規制への対応を進める。
- 現地取引先からの商品の要望については、これまでの経験で培った品質管理・商品開発技術や幅広い連携先を持つ強みを活かし、4日以内の回答対応を行う。
- 商社・現地小売店と連携した現地ニーズ把握を通して、小袋の醤油のPB商品等による小売業・テイクアウト販売における更なる販路拡大を狙う。
- 輸出先国を将来的に80カ国に拡大し、BtoBからBtoC向け（EC含む）にも対応するため、各国ニーズに対応した商品開発のうえ、使用方法提案やパッケージ（原材料表示）まで含めた販路開拓・プロモーションに着手する。
- 海外輸出に対応する従業員育成のための、人材育成体制構築を進める。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社柴沼醤油インターナショナル、品目：醤油

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 (令和2年)	【目標】 (令和12年)
輸出額 (円)	2.7億	7億
輸出量 (t)	1,400	4,000
主な輸出先	欧州（スイス、英国等）、中東（UAE、カタール等）、豪州等	欧州（スイス、英国、ポーランド、クロアチア等）、中東（UAE、カタール等）、豪州等 アジア（中国、台湾）

- 中国・台湾や、東欧・中東等の未輸出国への輸出拡大も実施(中国・台湾へは、規制緩和・撤廃に合わせて対応)